

# 第 61 回 社会貢献者の記録



第 61 回

# 社会貢献者の記録

公益財団法人  
社会貢献  
支援財団



# 目次

---

社会貢献者表彰とは .....	4
表彰選考委員プロフィール .....	5
式次第 .....	6
会長挨拶 .....	7
記念写真 .....	9
表彰式 .....	10
受賞者代表挨拶 .....	18
来賓祝辞 .....	20
乾杯のご発声 .....	22
祝賀会 .....	23
受賞者手記 目次 .....	27
資料編 .....	90

# 社会貢献者表彰とは

---

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰し、そのご功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的とする。

## 第61回社会貢献者表彰の概要

### 【募集告知】

2023年8月より、ダイレクトメール発送、海外フリーペーパー、当財団ウェブサイト等にて

### 【対象となる功績】

社会貢献の功績

### 【候補者について】

- ・候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍等の制限はない
- ・日本で活動する方、もしくは海外で活動する日本人を対象とする
- ・候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方とする
- ・候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）または大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とされる

### 【選考について】

選考委員会開催日：2024年1月22日

### 【受賞者】

受賞者：30組

### 【表彰式】

開催日：2024年7月29日 帝国ホテル東京

受賞者には表彰状、副賞として日本財団賞（賞金100万円）を贈呈する

## 表彰選考委員プロフィール (敬称略・五十音順)

### 委員長



脚本家、東北大学相撲部 総監督

内館 牧子

東京都教育委員会 教育委員ほか

脚本：「ひらり」「てやんでえッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラスメント」ほか多数

著書：「終わった人」「今度生まれたら」ほか多数

### 委員



元国税庁長官

大武 健一郎

認定 NPO 法人ベトナム簿記普及推進協議会理事長 名誉会長

著書：「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」「税財政の本道－国のかたちをみすえて」ほか多数

### 委員



産経新聞 東京本社 編集局 編集委員

小川 記代子

### 委員



iU 情報経営イノベーション専門職大学 教授

久米 信行

著書：「メール道」「ブログ道」(NTT 出版)「NPO のための IT 活動講座 効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか多数

### 委員



ノンフィクション作家、公益財団法人民間放送教育協会 会長

吉永 みち子

「ワイド! スクランブル」コメンテーター

著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老いの世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多数

# 第61回社会貢献者表彰 式次第

---

## 第一部 表彰式

10：30…開式

- ・ 会長挨拶
- ・ 選考委員紹介
- ・ 表彰状の贈呈
- ・ 受賞者代表挨拶
- ・ 来賓祝辞

12：00…閉式

## 第二部 祝賀会

12：20…開宴

- ・ 乾杯のご発声
- ・ ご歓談

13：30…閉宴

(2024年7月29日 於帝国ホテル東京 本館3階 富士の間)

## 会長挨拶

---

社会貢献支援財団の会長を務めております安倍昭恵でございます。

第61回社会貢献者表彰式典を開催するにあたり、受賞者を推薦くださいました皆様、また日本財団をはじめ、ご協力をいただいております関係各位に厚くお礼を申し上げます。



本日は30組の表彰をいたしますが、受賞者の皆様、そしてその活動を支えていらっしゃるご家族ならびに関係者の皆様に、心より敬意を表しますと共にお祝いを申し上げます。

私は、会長に就任以来、受賞者の方々を訪問し、ご活動の現場を見せていただいております。昨年10月にブラジルの南部、リオグランデ・ド・スール州のポルトアレグレまで、医師の森口エミリオ秀幸さんをお訪ねしました。森口先生は第51回表彰の受賞者です。大学病院とご自分のクリニックでお仕事をしながら、僻地に住んでいる日系一世のために、巡回診療を無償で続けられています。日系一世の方の中には、ポルトガル語を習得しないまま暮らしてきた方が多く、言葉の壁から病院に行くことをためらうことが多いのです。

巡回診療の当日は、ボランティアの方たちが会場の設営や、受付を行うなか、一世の皆さんは朝食や昼食を持ち寄り森口先生の診察や会話を心待ちにされている様子でした。

巡回診療も軌道にのってきた矢先の今年5月、ブラジル南部で続いた大雨の影響で、ポルトアレグレ一帯では洪水が発生し、ブラジル史上最悪といわれる水害となりました。事務所をはじめ巡回診療に使うバスや医療機器が2か月間も水に浸かってしまい、使い物になりません。また多くの日系人が住まいを失ったそうです。

私どもで何かできることはないかと思っていたところ、昔からブラジルの日系コ

コミュニティの支援をしてこられた日本財団が5万ドルの緊急支援を決定してくださいました。

現地の方々は、日本からの援助に「自分たちは忘れ去られてはいない」と心強く思われたことと思います。

本日受賞される皆様も同じように、困っている人を見て見ぬ振りができずに行動を起こしてくださっています。災害や戦争、子どもの貧困や生きづらさ、環境破壊など様々な課題の解決に取り組んでくださっています。少しずつでも世の中が良くなっていくように、引き続きお力をお貸しいただけたらと願っています。

私どもの団体では、受賞者の皆様の活動を見守り続け、つなげるお手伝いもして参りたいと思います。今後も当財団の会長として精一杯務めますので何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に受賞者の皆様の活動の一層の拡大と発展とともに本日ご出席いただきました皆様のご健勝をお祈りし、挨拶といたします。

公益財団法人 社会貢献支援財団  
会 長 安 倍 昭 恵

# 記念写真



- |                     |                                 |                  |                           |                                     |                             |                     |                    |                          |                     |                         |                          |
|---------------------|---------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|---------------------|--------------------|--------------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------|
| 熊澤 美香<br>スマイルオフィス   | 金城 隆一<br>沖縄青少年自立援助センター<br>ちゅらゆい | 川口 加奈<br>Homdoor | 室谷 悠子<br>日本熊鷹協会           | 光本 歩<br>ウイズ                         | 津田 和泉<br>ON THE ROAD        | 中村 孝一<br>eboard     | 岸田 久恵<br>猫の足あと     | 下原 唯千夏<br>FOOT & WORK    | 濱松 敏廣<br>維新隊エネスコクラブ | 寺子屋方太吉<br>富澤 佳恵         | 阿部 裕                     |
| 小西 凡子<br>style      | 江川 美奈子<br>きらの木                  | 庄山 好子            | 南 研子<br>熱帯森林保護団体(RFJ)     | 坂本 毅<br>砂漠緑化団体オールドスの風<br>(有限会社バンベン) | 夏目 浩次<br>ラバルタール<br>久遠チヨコレイト | 山本 加世<br>mama's hug | 吉水 慈豊<br>日経ともいき支援会 | 坂下 美沙<br>あきた結いネット        | 富澤 佳恵<br>寺子屋方太吉     | 小野 万里子<br>セイイラックアドレソ名品屋 | 三浦 孝子<br>アイシヤリアシアの農民と歩む会 |
| 岡部 昭子<br>くし応援ネットワーク | 石塚 章夫<br>インセンティブプロジェクトジャパン      | 久間 久恵<br>のびの会    | 山本 良子<br>リバティウイメンズハウス・おりが | 西岡 矩彦<br>ブルーチーズ                     | 会長 安倍 昭恵<br>社会貢献支援財団        | 日本産を保護する会<br>呉地 正行  | 全国ホリ才会連絡会<br>森山 幸恵 | 三浦 孝子<br>アイシヤリアシアの農民と歩む会 | 富澤 佳恵<br>寺子屋方太吉     | 小野 万里子<br>セイイラックアドレソ名品屋 | 阿部 裕                     |

## 表彰式

















## 受賞者代表挨拶

皆様こんにちは。熱帯森林保護団体代表の南研子です。

実は今、皆様の色々なご活動を見て、私は全く違う畑というのか、現場が日本ではありませんが、根っこは同じなのではないかと思いました。

1989年にイギリスの歌手のスティングという人が、アマゾンの森がこのままでいくと大変なスピードで無くなってしまおうと、アマゾンの長老と一緒に来日して仲間になってくれなにかということで私たちの活動は始まりました。

アマゾンには電気もガスも水道もない、トイレもお風呂もない。最初に行ったときはみんな真っ裸でした。まるで異次元に来たような、でも本来ならばこの人たちはここで幸せに暮らしていればいい、なぜ私たちが2万キロも遠いアマゾンに行って森を守る活動をしなければならないのかと思いました。

私は35年35回2,000日以上、電気もガスも水道も無い、トイレもお風呂も無いようなジャングルと一緒に支援活動をします。でも、本日の皆様のお話にあるような問題が何もないのです。アマゾンには寝たきりのお年寄りもない、認知症の方もいない、差別もいじめもない、自殺もない。私たちは発展して、幸せに生きるはずの社会を作るはずだったのに、文明とは何なのだろうとつくづく思いました。

本来、私たちはひとりひとりが幸せからこぼれないで暮らしていく社会を目指していたはずが、ほとんどがこぼれていく。私も長年活動していますが、解決策は見つかりません。ただ、アマゾンの森で採れたもの、例えば大豆や牛肉といったものが私たちの食卓に並びますが、それは2万キロも離れているアマゾンの森と私たち日本の暮らしと密接につながっているということです。目先のものを考えなくてはいけませんが、目先のものはこんなに遠くのものまでつながっているのです。

うまく説明はできませんが、文明は進歩しているのになぜこんなに色々な問題が起きてしまうのか。それこそ電気も水道もないところでは寝たきりのお年寄りもない、文字ありません。貨幣制度もまだ入っていません。矛盾ですね。お金が無いところを支援していくためにお金が必要になる矛盾も抱えています。しかし35年経ってもまだまだ解決の術がわかりません。

片手は自分の幸せ、もう片手は誰かのためにとっておく。自分を幸せにできない人



は、人を幸せにすることなどできないと思います。これが今日皆様のお話を伺って感じたことです。最初にも言いましたが、2万キロ離れたアマゾンの問題も日本の抱える問題も根っこは同じなのだと皆様のお話を伺っていて感じました。ほんの少しの優しさでひとりずつが他者のために手を貸す、ひとりが10人、10人が100人に手を貸す、そのように諦めないで続けていけば良いと思います。

アマゾンの森は年間東京ドーム28万個分が無くなっています。毎年現地に行くと開発で森が無くなっている。地球の酸素の供給源でもあるアマゾンの森。酸素が無くなると人間は3分で死ぬといわれています。非常に身近な問題ですけれどもここから遠いアマゾンの森の気候変動に影響しています。

以前はアマゾンの森も、こんなに暑くありませんでしたが、昼間は気温が50度になりました。夜は10度。寒暖の差が40度、湿度は10%以下なのです。日本でも気候変動で洪水が発生したりしていますが、アマゾンでは森林火災が発生しています。「未だかつてない気候変動」と耳にタコができるくらい聞かされています。私たちは何かの気づきを、また天は何かの警鐘を鳴らしていて、それをひとつひとつ丁寧に受け止めて、それぞれの立場で問題に取り組んでいくしかないと思います。

私はほとんどアマゾンに行っていますので、今日はいろいろな方と出会えるとても良い機会をいただいたと思っています。また名誉ある賞をいただいてこれからもなお精進していきたいと、頑張ろうという気持ちになりました。

本日はありがとうございました。

NPO 法人熱帯森林保護団体 (RFJ)

代表 南 研子

## 来賓祝辞

表彰された皆さんおめでとうございます。皆さんの活動を拝見して、多くの社会課題があることに心が痛むと同時に、対応されている皆さんの日夜の努力に敬服致します。安倍会長が率先して現場を訪問し、幅広く活躍されており、また財団役員、評議員、理事、選考委員のご努力により、素晴らしい活動をされている方を見つけ出していることを嬉しく思うと同時に、更なる活発化を願っております。



今回の表彰には、外国で活動されている皆さんが多くいらっしゃいました。また、表彰を受けられる方の多くが女性であったことも今回の特徴ではないかと思います。NPO 法人熱帯森林保護団体がブラジルで活躍されている話がありましたが、当方もマトグロッソ州にはハンセン病制圧活動で赴きましたし、これまで世界122ヶ国の僻地、砂漠、ピグミー族のいる森の中、インドの山奥など広く活動しております。

行政では出来ない問題が近代化の中で沢山出てきました。その中で、皆さんがいち早く問題に気づき、それに対応されていることは本当に有難いことであります。昔から日本人には利他の心が自然に存在するわけでして、皆さんは社会で気づいたことに一歩踏み出して活動下さっております。皆さんのように日本国民が一歩前に出てくれるとより良い国になると思いますし、皆さんはその指導的役割を果たされているのではないのでしょうか。引続き皆さんにおかれましては幅広い活動をしていただきたいと思います。僭越ではありますが、日本財団のHPを見ていただければ、皆さんの活動を拡大するに役立つ情報もあるかと思います。

表彰を受けた皆さんに対して、恐縮ではありますが、長い間 NPO を支援してきた立場として、お願いしたいことがあります。一つは、皆さんの活動は社会になくはないものである、これをどのようにして拡大していくかということをお考えいただきたいということです。また、一般論ではありますが、創業された後の後継者の問題が中々上手くいかないというのも50年の経験からあります。そして、ファンドレイジングも重要であります。多くの人に支えられることが、皆さんの活動を広く啓発するに重要なことでもあります。是非ともファンドレイジングの専門家、担当者

を各組織に一人配置頂き幅広い資金を集めることが、活動への理解促進に大切だと思います。

これからの日本、外国で日本を背負って立つ皆さんに更に活動を拡大していただくということが、日本が世界での存在感を示していくことに欠かせないことであります。ネバーギブアップの精神で、決して諦めず、皆さんが活動を拡大させていくことを願っています。これからの一層の活躍を祈念すると同時に、本日は誠におめでとうございます。

公益財団法人日本財団

会長 笹川 陽平